

# 公明党議員団

池田 謙次・神山哲太郎・大西 厚子  
藤田 広美・大野 正和



神山哲太郎  
議員

## 【代表質問（抜粋）】

**新型コロナウイルスへの備えについて、市民への正しい情報の周知と目や耳の不自由な方の対応についてとPCR検査の早期対応を求め、相談先や日常生活の注意点などをホームページ掲載と、チラシ作成をする**と答弁がありました。

**広告収入やネーミングライツの拡大について、新ときわスケートセンターなど7施設は随時募集中で、総合体育館については老朽化対応後に導入予定。また、東西の大規模な公園も導入に向けて検討しています**と答弁がありました。

**ぼい捨て防止条例の罰則規定を設けることについて、ポイ捨てが減っていない札幌や釧路でも罰則規定があります。市内の美観を守るために必要と質問し、平成10年から同条例を施行し平成28年に一度罰則について検討したが、今後についても取り締まりに課題があり、市民のマナーやモラル醸成に力を入れるとの答弁がありました。**

**防災行政無線のデジタル化と防災各計画などの見直しについて、戸別受信機の導入は町内会や学校**

**防災関係機関、避難行動要支援者について無償配布とし、一般市民は購入となる予定で、災害時備蓄計画・避難所運営マニュアルや実務レベルの計画・マニュアルは、今年度中に見直すとの答弁がありました。**

**子宮頸がんワクチンについて、接種のためではなく、正しい情報の個別通知によって伝え、家族で話し合いの機会と選択する環境づくりをするのが行政の役割ではと質問し、ワクチン接種によるメリット・デメリットをどのように伝えられるか関係機関と情報提供のあり方について検討したいと答弁がありました。**

**外国語教育の推進について、新年度より外国語指導助手を14名増員し、中学校区に常時配置し、生徒と日常的にコミュニケーションをとる機会の増加とまちなかの施設での英語カフェの開催などを実施し、英語の楽しさを伝えていくと答弁がありました。**



池田謙次  
議員

**一般会計に所属し、今回の新型コロナウイルスや異常気象による災害情報でデマやフェイクニュースに惑わされないように、早急に「公式アカウントアプリ」の導入を提案、一年以上前倒しで導入・配信されることになりました。ぜひ登録いただきたいと思えます。スマホ依存症の対策を訴え、子供たちと共に、保護者の皆さんのご協力のもと何らかのルールづくりを提案させていただきました。**



藤田広美  
議員

**この度の新型コロナウイルスの感染防止などを図るため、代表者会議や議会運営委員会では対応を協議し、さまざまと急を要する対応となった市議会定例会でありました。議会改革やICTの推進についても6月に向けて引き続き議論を進めてまいります。市民の皆さまのご意見を伺い、安全・安心のまちづくりに取り組んでまいります。**



大西厚子  
議員

**未就学児交通安全対策事業費の質疑では、防護柵を延長451m、路面標示やカラー舗装14力所、警戒標識5力所を8月上旬まで設置予定と答弁がありました。キッズゾーンの設定も求めました。国保の人間ドックはタダとく健診のオプションとして統合し、5、500円の費用でGOGO健診を実施すると答弁がありました。さらに、介護保険の生活支援サービス事業の拡大も求めました。**



大野正和  
議員

**市立病院でのがんサロンの常設について質疑、令和2年6月下旬を予定に専従の職員を配置して始まること、愛称を「はなしょうぶハウス」とすることが決まりました。会派の先輩達が6年以上前から提案し続けたことです。さまざま相談を受けたり、展示をしたりなどをします。市民の皆さまの代弁との思いで質疑しました。**